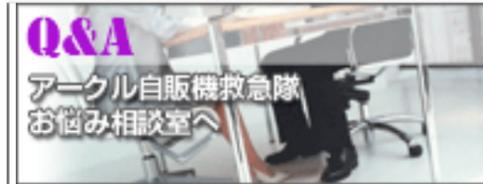


■2008年8月のマンスリーNEWS

■コラム

■夏場最盛期突入です!!

暑中お見舞い申し上げます。



小田原（営）一同



海老名（営）一同

酷暑の中皆様はいかにお過ごしでしょうか？

私達アークル一同、頑張っていますので今後ともよろしく願いいたします。

■コラム

■秋商戦に向けて



現在、私達の頭の中は秋商戦についてです。

これからの時期は切り替えのタイミングの早さがもの言う季節になってきます。なぜなら朝晩の涼しさは、どんどんやってくるからです。

特の自動販売機の売り上げの6割はコーヒーが占めます。ということはホットのコーヒーをいち早く作る必要があります。この業界のホット（4～5アイテム）への切り替えは10月ぐらいから始まってくるのが平均的ですが、アークルでは他社が始まるころには全て終わっている状況を毎年作っています。

しかし、今年は予報によれば9月も酷暑が続くという予報になっています。切り替えのタイミングは今のところ予定通り行うつもりですが、あまりの暑さが9月も続くようであれば、夏物商品を引き続き残すかもしれません。

切り替えは予定通り行っていきますので、9月の暑い時のアークルの営業マンがホットへの切り替え操作をやっている場合がありますので、ご了承ください。

* 枠の中がHOTになります。

それにしても、今年の夏は本当に暑いです。（私達にとっては恵みの暑さとなりました。）

■7月の売れ筋商品

DYDO売れ筋ベスト5	SUNTORY売れ筋ベスト5
1位 ダイドブレンドコーヒー	1位 ボス贅沢微糖
2位 デミタスコーヒー	2位 ボスレインボーマウンテン
3位 Mコーヒー	3位 ボスブラック
4位 D-1 香りの微糖(金)	4位 ボスカフェオレ
5位 葉の茶 朝摘み290	5位 南アルプス天然水500PET

やっと、サントリー天然水ペットが上位に上がってきました！8月は大分売れ筋が変わってきてます。

■グローバルになるお金

6・7月号でスリランカ投資のお話しをしました。そんな中6/25日経新聞に「グローバル財務の潮流」という記事が載りました。とても興味深いので今回はこの記事を取り上げてみたいと思います。

海外利益を活かせ

上場企業の海外売上高比率が3割、製造業では実に5割弱まで高まるなか、財務戦略にも国際的な視点が欠かせなくなってきた。資金の流れを世界規模でつかどる戦略なしに本業の拡大は望めないからだ。海外で稼いだ利益をいかに効率よく活用するかも足元の大きな課題。直面するさまざまな課題に対する各社の取り組みを通じ、グローバル財務の潮流を探る。

武田薬品工業は米国を中心に海外販売が売上高の5割強を占める。同社は海外で得た利益の多くを外貨のまま保有、日本より高金利の海外で運用している。2008年3月期末の手元資金は1兆6千億強だが、半分以上はドル建ての運用だ。前期の金融収支の黒字額は前の期より10%増えて600億円を上回った。

資金を外貨のまま持つのはM&Aなど海外投資に備える狙いもある。4月には88億ドルで米バイオベンチャーを買収すると発表。次の成長機会を求め、米国で儲けた利益を再び米国へ投じた。

各国の通貨に対する円の総合的な水準を示す実質実効為替レートは歴史的な円安水準で、外貨を日本に還流させないのは為替リスクへの備えでもある。加えて税コストの削減期待も大きい。

日本の法人課税の実効税率は約40%と、20～30%台のアジア各国より高く、主要国の中でも高水準。「優遇税制のある海外へ進出したのに、日本に利益を還元して高い税率をかけられては意味がない」（大手化学品メーカー）というのが企業の本音だ。

外貨のまま運用・再投資

経済産業省によると、日本企業の海外現地法人の内部留保残高は06年度に17兆円と前年に比べ36%増えた。特にアジアが40%増と伸びており、日本企業の資金がアジアに積み上がっている様子が分かる。海外での利益を日本に持ち込まず、海外のグループ会社間で有効活用する動きも活発だ。

11年3月期に営業利益の5割以上を海外で稼ぐ目標の味の素はユーロ圏のグループ会社間で資金を融通しあっており、ブラジルや中国などでも順次、各国のグループ会社間で同様の取り組みを始めている。

政府は09年度の税制改正に向け、日本企業が海外現地法人から受け取る配当を非課税にする検討に入る。日本の投資減少を危ぶむ政府の対応は、海外の利益で循環させて活かす日本企業のグローバルな財務戦略が浸透してきた証しでもある。

先月号でスリランカ投資について書きましたが、海外で得た利益を日本にもってきたら日本の税制対象になると書きました。つまり法人で海外投資を行った場合、法人税対象となり利益の約半分を納めなければなりません。お金の動きはよりグローバルになった今、小手先の税制改正で今の流れを変えることはできるのでしょうか？

それにしても2年前の税制改正で持ち株比率の高い同族会社で中小企業の社長の給与を一部経費に認めない事にして余分な税金を取られる法律を作りました。オーナー課税という重税です。こんな税があるのは日本だけです。

昨年12月の当マンスリーニュースのS氏の「妬み税制に終止符を打て」というコラムを覚えていますか？しょせん日本は妬みや嫉妬から税制が決まっており「取りやすいところから取る」というのが一番楽だということなのでしょう。

■コラム

■堀井学(元スケート日本代表)の講演



先日、友人の会社の中期経営計画発表会が新横浜のホテルでおこなわれ、その会で元スピードスケートの日本代表の堀井学氏の基調講演がありました。本人の実際の体験の話だったので、とても興味深く聞くことができました。すこし、紹介したいと思います。

彼の話しの内容は「目標を決め頑張れば目標達成することが出来る」ということを自らの体験を通じ話していきます。

小学生から高校生と育つ中で彼にとって大切なポイントとなる人物が出てきます。それは彼の祖父と高校時代の監督なのですが、この人達に目標を決めそれに向かっていく大切さを学んでいきます。

小学4年生のときです。学校のスピードスケート大会でとても速い同級生に憧れてスピードスケートを始めます。これが彼のオリンピック選手になる始まりとなる訳です。始めた時は全然速く滑ることが出来なくて、速い同級生に1周半以上の差をつけられるほどでした。彼の祖父はいつも彼に「頑張れば何でも出来る」と教えていきます。しかし中学時代もスケートの実力はあまりパツとしないまま、高校進学を進路を決める時を迎えます。これが第一の転機となるのです。

彼はスピードスケートの名門、帯広白樺学園への入学を希望します。しかし白樺学園と言えば全国に轟く有名高校で何人ものスケートエリートを輩出している高校で、スケートで入学する人はほとんどが推薦で入学してくる学校です。もちろん彼は無名な学生ですから回りの人達から言わせれば「学は気でも違ったのか？」ぐらいに言われることなのです。親に頼んでみたところ全然取り合ってもらえる状況ではありません。一度はあきらめ不良の道へまっしぐら。そこでまたまた祖父の登場です。

「学、一度や二度反対されてあきらめるようでは、本当の願望ではないんじゃないか？。真剣に自分の思いを伝えなさい。」こう祖父に言われた彼は頭を坊主にして正座をして真剣に両親にお願いをします。すると父親が「今度の北海道の大会でベスト16に入ったら受験を許してやる。」と言ってもらえるわけですが、ベスト16なんてそのときの彼の實力からでは相当高いハードルで、もう少しハードルを下げたいと懇願しましたが、聞き入れられずこの条件をクリアするために必死で練習したそうです。結果はなんとか16位にギリギリ入ることが出来、めでたく白樺学園に入学する事になります。

白樺学園のスケート部に入部し、新入生歓迎会が行われ、新入生が並ぶと自分以外並んでいる奴らは全国大会の有名な奴ばかりで、受験してスケートに入部しているのは自分だけと気づきます。このとき、監督は新入生に白樺学園のスケート部の目標は何かを伝えます。

全寮制でとても厳しい環境の中、厳しい練習と上級生からのひどい扱いを受けます。大してスケートはうまくならないのに、宴会芸とマッサージ（上級生に対しての）だけはうまくなっていきます。ただ彼が本当に辛かったのはそういうことでなく、監督やコーチに一切声を掛けてもらえなかったことでした。

2年生になろうとしていたある日の事、あまりの辛さに退部を決意し親にTELしようとして寮の公衆電話の前でモジモジしていると、監督に「堀井、ちょっと来い」と声を掛けられます。心の中で「あ〜、俺もこれで終わりだ〜！」とがっかりしながら監督室に入ります。

監督：「なあ〜堀井。お前はよくやってるのは俺もよく知っている。。つらいだろうが明日から心を入れ替え頑張れ！」

堀井：「はい、わかりました。」コチコチに緊張しながら「それでは失礼します。」

監督：「堀井、ちょっと待て」

堀井：モジモジ・・・緊張して棒立ち状態

監督：「おい、堀井、白樺学園のスケート部の目標を言ってみろ。！」

堀井：頭は真っ白で、何も言えない

監督：「白樺学園のスケート部の目標は・・・・・・・・・・じゃなかったかー！！」「お前この目標を絶対に忘れるな！それから明日からは真剣に自分のためにスケートに取り組み！」

堀井：「はい、わかりました。失礼します。」

監督：「おい、ちょっと待て。一緒に風呂に入ろう！」

風呂の中で、

監督に背中を流し、自分も背中を流してもらい、スケートの指導をしてもらった彼はうれしくて涙が止まりませんでした。これをきっかけに彼の心が変わったのでした。それからメキメキ実力をつけ何と2年生で全国大会で優勝、その後憧れだった黒岩彰がいた専修大学に入学してその後の活躍は周知の通りです。

その後23歳から彼は自分の将来の目標を具体的に決め、歩んでいるそうです。すでに講演は400回を超えているそうですが、どこの講演でも必ず自分の今後の目標を発表しているそうです。

この講演を聞いてなんかとてもすがすがしさを感じました。努力する大切さや自分がこうありたいという自己実現への思いの強さなど学ぶべき点はたくさんありました。

■コラム

■「悪いのは、あなたではなく社会」

～メディアが生み出す無差別殺傷事件

1ヶ月ぶりS氏の登場です。またまたS氏

の筆がうなる！

秋葉原で衝撃的な無差別殺傷事件がおきた。さらに驚いたのは、犯人の掲示板の書き込みに対し「共感できる」という若者が多かったことだ。つまり予備軍が大勢いるのである。

最近の無差別殺傷事件の犯人たちは、次のような思考経緯をたどる。

1. 自分は「負け組」とであると自ら認定する。
2. 「こんな自分にしたのは社会が悪い」と不満が肥大化していく。
3. 社会に対して復讐を決意する。

どうしてこのような思考をたどるかということ、メディアが「勝ち組、負け組」とか「格差社会」とか、まるで本人の能力や努力とは別に、社会にそのような「抽選システム」が存在しているかのようにあり立てるからだ。いったん「はずれくじを引いた」と自己の責任を回避してしまえば、資質向上努力を放棄してしまい、当たりくじを求めてさまよいはじめる。それを「努力」と勘違いし、「努力しても報われない」と社会に対する不満を蓄積させてしまう。むろん、弱者救済は国家の責務だから、粛々と実行されなくてはならない。しかし、メディアがその面だけを強調し、あたかも「悪いのは、あなたではなく社会」とお墨付きをあたえては、宝くじ症候群を助長する結果となる。

オートメーション化がすすみ、工場が海外に移転してしまった現在、単純労働に活路を見出すことはできない。環境が変わっているのだから、人間の努力する方向も変えなければならない。それをメディアがミスリードし、あとは社会に復讐を決意すれば事件発生となってしまう。

当たりくじを求めてさまようことは努力ではない。他人に自分の運命を委ねるなんてつまらないではないか。自分の運命の主人は自分自身であるべきだ。

PS

と、いいながら私は、金融市場で、日夜当たりくじを求めてさまよっている（笑）。最近はずれくじばかりの「負け組」である（涙）。悪いのは私でなく、きっと金融市場のほうだ（怒）。私の予想が事実と合わないのは、事実の方が間違っているからなのだ（？）。

■コラム

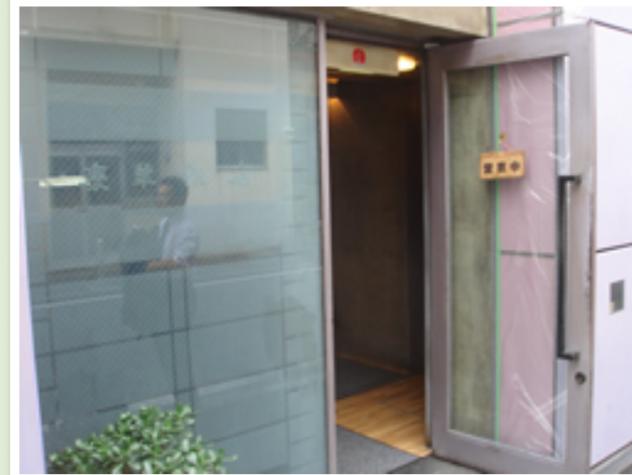
■激ウマ!B級グルメ情報 第14弾

日本一旨いえびワントン！？

今月号6月号で紹介した中華街ネタの第2弾です。このお店は私の友人のYタイヤのKさんに先日連れて行っていただきました。Kさん曰く「日本一美味しいえびワントンのお店に連れて行ってあげる。」「どんな味なのですか?」「とにかく付いておいで。味は自分で確かめてみればわかるから。」といいながら、中華街の脇道に入っていきます。「高級店で旨いのは当たり前。いかに安くで旨いのがが

ポイントなんだよな〜。」などと言っています。このK氏は相当B級グルメに関してはうるさいようです。

お店は看板がありません。知らない人はこの店は絶対にわからないでしょう。店内の壁面はコンクリート打ちっぱなしの殺風景な感じですが、厨房は別の階にあるようで、小さいエレベーターを使って商品が届けられます。



看板がない店の入口

早速食してみます。まずはスープを一口。「うん？」なんか味が薄いな〜。

その後ワンタンへ。そこでこのスープの薄さが理解できます。ワンタンの具はちょい濃い目の味付けなのです。つまりこれはワンタンとスープのマッチングが素晴らしいところが秘訣なのかもしれません。

Kさんはこの店にたくさんの中国人を連れてきているそうです。中国人達は絶賛するそうです。中には「この料理は中華料理ではなく、日本料理だ。」という中国人がいたそうです。つまりスープが相当繊細な味なので、中華ではないということらしいです。これぐらいの味であれば、中華ではたくさんの香菜を入れるとのこと。

皆さん是非チャレンジしてみてください。



K氏推奨「日本一うまいえびワンタン」 \630円



慶華飯店のもう一つのお奨め。チャーシューごはん。 \630円

店名

「慶華飯店」

場所

横浜市中区山下町150

営業時間・定休日

11:30~

(L.O.14:30)

17:00~20:

00 (L.O.19:

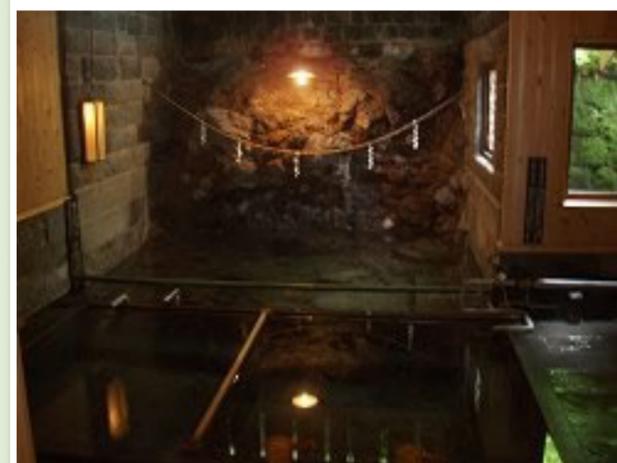
30)

水曜定休

■コラム

■箱根 温泉レポート 姥子温泉「秀明館」

「箱根にこんなに野趣あふれる素晴らしい温泉があったんだ〜!!」と感動するような温泉です。さっそくレポートをお届けします。場所は箱根姥子温泉。大涌谷のちょうど下くらいに位置します。その名は「秀明館」。もともと大正時代からの湯治場だったのですが、近年経営が出来なくなり、ずいぶん営業を停止していたのですが日帰り温泉「天山」のオーナーが買い取り復活しました。



この温泉の特徴はなんと言っても岩からしみだしてくる源泉にそのまま入るところで、源泉の温度は約50度、熱交換によって温度を下げているのですが、それは湯船の中だけで、岩からしみだしてきている湯は本当に熱いのです。例えば湯船のふちに流れる湯は源泉からあふれ出している湯なので、いきなり踏み込むと熱くてびっくりします。

この温泉は古くから眼に効くといわれ、金太郎ゆかりの湯としても有名で、金太郎が枯れ枝を眼に刺し見えなくなったとき、この湯で眼を洗ったところ全快したと言われていました。ということで私もチャレンジしてみました。洗面器に源泉の湯をため、熱いのを我慢して顔をうずめます。そしてその中で眼をパチパチすると最初はかなりしみますが、その後は眼がスッキリします。



庭にはこのように熱い温泉が滝のように流れています。

ライオンの口から出ているのは、飲泉用でひしゃくがおいてあります。これは飲泉用なので冷たいです。内臓疾患に効果があるそうです。

現在は日帰り温泉施設になっていますが、基本的には部屋を借りるようになっていて、部屋のレベルによって2300円～4000円という金額になっているようです。部屋には何もなく、環境もとても静かです。5人以上の団体客はお断りしているそうです。ゆっくり休みたいとき、1日温泉三昧するにはもってこいかもしれません。次に行くときは読みたい本をもっていこうと思いました。



温泉から出たところの休憩所窓の外には、温泉の小川が流れておりけむりがただよっているのが窓から見えます。バックの山の雰囲気とあいまってとてもいい感じです。

施設への入り口、秘湯へって感じです。場所は、姥子のロープウェイの駅のすぐ近くです。この夏皆さんも行かれないかかでしょうか？

■コラム ■ポリカーボネイト樹脂は本当に安全か？

7月8日に厚生労働省が**ポリカーボネイト樹脂**に含まれる**ビスフェノールA**について発表しました。この発表内容を要約すると、**ポリカーボネイト樹脂**には人体に害のあるビスフェノールAが含まれており溶出することによって摂取すると人体に影響する恐れがある。

特に妊婦、乳幼児には影響が大きく、哺乳瓶の一般的な材料として**ポリカーボネイト**が使用されているが古くなったもの、内部に傷（乳白色）があるものについてはビスフェノールAの溶出する危険性があるので使用は控えて下さいというものです。また、熱消毒で殺菌するのが一般的ですが、熱消毒の際にも溶出している危険性はあります。



ところで、皆さんは〇クアクララや〇リスタルクララなどの水のサーバーはお使いになっていませんか？これらのリターナブルボトルは**ポリカーボネイト**が使用されています。リターナブルである以上、洗浄には高温水等を用いなければなりません新品段階では有害物質である**ビスフェノールA**の溶出は基準によって厳守されておりますが、最低でも40回程のサイクルをこなすがロンタンクの安全性は如何なものでしょうか？

ちなみに私達の推奨するコスモウォーターの使い捨てパックは**軟質ポリエチレン**を使用しています。タンク内に空気を入れる事もなく雑菌の発生も限りなく少なく、リターナブルではないので場所もとりません。

使い捨て軟質ポリエチレン

みなさん是非この機会に検討なされていかかでしょうか？

今ならご契約いただいたお客様には古都の天然水2本を無料でサービスい

たします。



次世代ワンウェイシステム 使い捨て容器 飲料モデル

安全・衛生面を追求した画期的な特許製品です。

ボトルに空気が限りなく入りにくいいため
雑菌・カビ菌・ウィルスの影響を受けにくいので
とっても安全!

水受け皿は**取り外し可能**なのでお手入れがとっても簡単♪

コスモウォーターの
ウォーターサーバーなら
今までの問題を**「解決」**します。

いつでも**冷水温水**がでできます。
片手に入れられ、とっても使い易い。
温水は**安全ロック付き**で
お子様がいらっしゃる方も安心!

【床置タイプ (ロング)】 【卓上タイプ (ショート)】

■コラム

■次回予告 スリランカ視察レポート



スリランカの視察に行ってきました。
詳細は来月号でお届けします。期待してくださいね。

写真はローカル市場でのスパイスを売る店です。
さすが、3食カレーの国です。

■コラム

■ウーロン茶の旅



神奈川 (アークル) ・静岡 (ファインドリンク) ・山梨 (フローレン) 訳してA F Fグループと言います。

この三社は富士山を囲む同業社 (自販機オペレーター) の仲間です。三社合計で1万件以上のお客様があります。現在この三社合同で自販機を設置していただいているお客様に対して中国福建省アモイ・「ウーロン茶の故郷を訪ねて」ツアーを企画しているところです。

日程は今年の11月から来年の3月にかけて8~10回に日程を分けて作り、皆様にご優待のご提案をしたいと考えております。

お茶畑の先には街が・・・

先日、当社のMがツアーの下見に行っていました。そのときの様子を追ってマンスリーNEWSでお知らせしていきたいと思えます。

皆様、もし日程の都合が合いましたらふるってご参加ください。

■コラム

■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

ただいまブログは8名が更新中です。

- ・所長のブログ（小田原H所長）
- ・チーフの給湯室（小田原Mチーフ）
- ・情報最前線（海老名K所長）
- ・促進課・ほしやんの鼻からうどんいれたるか
- ・促進課オヨヨ
- ・販促課オオクワ80mm



- ・産地直送！新鮮ネタ（海老名Nチーフ）
- ・古本おやじの独り言（98キロの人面冷凍マダロ）

旅行のパンフレットが出来上がりました。
来月号のマンスリーで同封いたします。

今月は以上です。又、来月号も宜しくお願いします。

■2008年度のマンスリーNEWS

➡	2008.07	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.06	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.05	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.04	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.03	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.02	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.01	アークル	マンスリーNEWS

■マンスリーNEWSアーカイブ

➡	最新	マンスリーNEWSトップページ
➡	2007年度	2007年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2006年度	2006年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2005年度	2005年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2004年度	2004年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	番外編	マンスリーレポート番外編